

教科等	授業改善の視点	児童の学習状況	改善の計画と評価の方法
国語	① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた思考ツールの活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「読書にすすんで、取り組んでいる」に対して、92%の児童が肯定的な回答をしている。一方で、「国語の授業中、すすんで学習している」に対して、否定的な回答が他教科に比べて多い。このことから、児童が教材に対して、興味・関心をもつ工夫が必要である。 ② ほとんどの児童がすすんで学習者用端末を活用している。一方で、否定的な回答をしている児童がいる。このことから、効果的に学習者用端末を使用するような学習展開の工夫が必要である。	① 児童の興味・関心を引き出す教材の開発を行う。 <u>45分の授業内に1度はペアワークやグループワークの活動を取り入れ、対話的な時間を設定する。</u> ② <u>学習者用端末の思考ツールを用いて、整理・分類する力を身に付け、自分の考えを形成したり、まとめたりする。</u> 45分の授業内に1度は学習者用端末を活用する時間を設定する。
社会	① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 指導の個別化のための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「社会の授業中、すすんで学習している」に対して多くの児童が進んで学習しているが、全員参加には課題がある。このことから、児童にとって身近な学習課題を設定することが必要である。 ② 学習者用端末を活用し、情報収集や分析に熱心に取り組んでいる児童が多い。一方で、情報収集・分析において学習者用端末の活用が苦手な児童もいる。このことから、調べたり、まとめたりするときに有効に学習者用端末を使用できるように支援する必要がある。	① 単元の導入で普段の生活を想起して問題意識を高めながら <u>学習課題を設定する</u> 。また、調べ方やまとめ方の例を示し、児童が主体的に活動できるようにする。 ② 児童の意欲を引き出すために、学習者用端末上での資料を作成・配布をしていく。また、読み取りが難しい児童のために <u>授業支援アプリ等を活用</u> して読み取った情報を共有し、個別最適な学びを促す。
算数	① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 基礎・基本の定着のための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「算数の授業中、すすんで学習している」に対して、多くの児童が肯定的回答している。一方で、他教科に比べたときに、肯定的回答の割合が低い。このことから、誰一人取り残さない授業展開にする必要がある。 ② 説明を書く、発言する活動への取り組み状況には差がある。また文章で書く説明が多く、説明方法の多様化が課題である。このことから、説明や課題解決の場面で必要に応じて学習者用端末を使用する必要がある。	① <u>苦手意識のある児童の困りごとに着目して授業を展開</u> することで全員が授業に参加できるような授業展開にする。 ② 児童が、数直線等の図を用いて解法説明を分かりやすくするものや図形など可視化して理解が高まるものを <u>配布する</u> 。児童がその資料を使用して学習する時間を設定する。
理科	① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器の活用した観察・実験の記録 【ICT 機器の活用】	① 学習内容に対して、高い関心をもって取り組むことができている。このような児童をさらに増やすために、児童が主体的に問題意識をもつとともに、協働的に学習する必要がある。 ② 多くの児童が、学習者用端末を活用して学習している。また、全員が参加し、よりよい観察・実験を行うために多くの児童が学習者用端末を活用することが必要である。	① 児童の疑問や気付きから、問題意識をもって、 <u>実験や観察を行うことができるよう、発問を工夫する</u> 。予想や結果を基に気付いたことや考えたことを出し合う場面などで、 <u>ペアワークやグループワークの活動を取り入れ、対話的な時間を設定する。</u> ② 特に観察を行う際には、ICT 機器を活用し、観察対象の細部まで <u>見ることができるようにする</u> 。また、実験を行う際には、 <u>実験結果の共有や実験の記録に活用していく。</u>

音楽	<p>① 学ぶ楽しさを実感できる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② 興味・関心を高め、理解を深めるための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童の割合が 91.2%で、2年生時より 3.2 ポイント増加している。一方で、苦手意識があると、取り組むことに躊躇する児童が数名いる。</p> <p>② ウェブ上のアプリなどを利用し、リズムの学習や楽器の音色などについて楽しんで学んでいる。</p>	<p>① 児童が興味を維持できるような教材選択をする。合唱や合奏で、互いの声や音を聴き、<u>児童同士が関わり合い、表現を認め合える</u>ような授業展開にする。</p> <p>② 学習者用端末を活用し、自ら作り上げる音楽の楽しさを味わえるようにする。</p>
図画 工作	<p>① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を用いた発表や鑑賞 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 学習内容に対して関心をもち、意欲的に学習できている。このような児童を更に増やすために、導入で発想を広げられるようにする工夫が必要である。</p> <p>② 学習者用端末の活用は、鑑賞の場面で使用することが多い。このことから、発想や構想を与える場面でも使用し、単元を通して学習者用端末を活用することが課題である。</p>	<p>① 指導者が題材の核となる部分を明確に伝え、<u>児童が発想を広げるきっかけを与え、児童が活動の見通しをもてるように、単元の導入を工夫する。</u></p> <p>② 単元によって、ICT 機器を活用して、<u>発想や構想のきっかけを与えたり、これまでと継続して鑑賞や発表に活用したりする。</u></p>
体育	<p>① 主体的に学びに向かう力の向上 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を用いた動きの可視化や比較 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 学習時は、ほとんどの児童が意欲的に運動できている。一方で、休み時間にすすんで体を動かしている児童は学習時に比べて少ない。</p> <p>② 運動する学習であるがゆえに、学習者用端末の活用場面は限られている。このことから学習効果のある単元、場面を考え、学習者用端末の使用を計画的に行うことが課題である。</p>	<p>① 授業中の主体性が休み時間にもつながるように学習を計画する。体づくり運動で<u>ペアやグループの活動を多く取り入れたり、室内外でできる遊びにつながる運動を教材として扱ったりする。</u></p> <p>② 特に器械運動や陸上運動においては、<u>動きの可視化や比較をするために ICT 機器を活用していく。</u>また保健領域では、<u>思考ツールを活用して考えを形成したり、共有したりする。</u></p>
外国語 活動	<p>① 学ぶ楽しさを実感できる、音声でのやり取り中心の授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童の割合が 97%であり、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。</p> <p>② 英語に初めて出会う小学校段階であるため、英語を聞いて理解する際に言語外情報がないと理解が難しいのが現状である。視覚的補助を用いることで児童の理解促進を図ることが課題である。</p>	<p>① 互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して、<u>実際に自分のことを伝え、相手のことを知る体験をし、外国語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感できるようにする。</u></p> <p>② 児童の理解促進のための言語外情報の視覚教材として ICT で絵や写真を提示する。また、ICT を活用し、動画教材を使うことで児童が集中して言語材料に慣れ親しみ続けられるようにする。</p>
道徳	<p>① 「考え議論する道徳」授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を用いた教材内容の提示 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 発問に対して自分の考えをもち、ペアや全体の交流で話し合いを広げたり深めたりしていくことが課題である。</p> <p>② 自分の生活体験と結び付いていないことから、場面を具体的に想像することが難しい児童がいる。</p>	<p>① 児童の実態に応じた内容項目と教材の研究を行う。<u>自分事として考えることができるよう、発問や補助発問を吟味する。</u>45分の授業内に1度は<u>ペアワークやグループワークの活動を取り入れ、対話的な時間を設定する。</u></p> <p>② デジタル教科書やデジタル資料を用いて、<u>導入や教材提示の仕方を工夫することにより、教材の内容を理解したり場面や様子を把握したりすることができるようにする。</u></p>